



キャンパス/東京都八王子市 学生数/6,559人 創立/1971年  
 建学の精神/人間教育の最高学府たれ 新しき大文化建設の揺籃たれ 人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ  
 学部/経済、経営、法、文、教育、国際教養、理工、看護  
 大学院/経済学、法学、文学、教育学、国際平和学、理工学  
 THE 日本大学ランキング2023/74位

## 教育体験型の育成プログラムと入試の流れ ※2025年度入試

### PASCAL入試 チャレンジプログラム

#### ①LTD体験

●実施時期  
 第1ターム：3月下旬  
 第2ターム：6月  
 第3ターム：8月

●実施概要(オンライン)  
 タームごとに予習教材を精読し、「LTDガイダンス映像」に沿って「予習ノート」を作成のうえ、LTDを体験(1グループ4～6人/約60分)。LTD実施後は、個々に振り返りを行って「リフレクションシート」を提出する。

#### ②キャリアプランニング

自分の能力と経験を洗い出し、自身の潜在的な目的意識や嗜好性を発見する。そのうえで、大学での学びの意味や学部の志望について考えを深めることが目的。

●実施概要(オンライン)  
 オンデマンド配信による「自己分析講座」を各自で聴講し(5月上旬～)、ワークシートを完成させる。また、現役学生によるサポートによるグループ面談を行う。8月中を基本に「大学への志望動機」を深め、大学でのキャリア形成につなげるのが目的。

#### ③オープンキャンパスへの参加

対面型とオンラインの両方で開催(5回予定)。

### PASCAL入試

※PASCAL入試チャレンジプログラムの受講は必須ではない  
 ※以下のスケジュールは予定(2024年5月時点)

●第一次選考 (書類審査)学部ごとの観点に基づき、下記書類の審査を実施  
 (出願締切：2024年9月13日、合格発表：10月1日)



●第一次選考合格後 第一次合格者は第二次選考に向け下記の準備を行う

▶LTD方式(全学部)

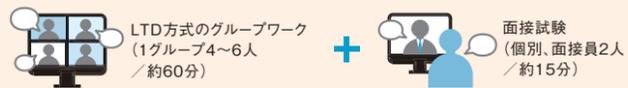


▶プレゼンテーション方式(理工学部のみ)

いくつかの課題から1つ選び、プレゼンテーション資料を作成・提出

●第二次選考

▶LTD方式(全学部) オンラインによる実施(2024年10月19日)



※国際教養学部のみ、日本語と英語の両言語を用いて行う。

▶プレゼンテーション方式(理工学部のみ) オンラインによる実施(2024年10月20日)



# 特色ある学習法を体験する入試で 入学者の意欲と質を高める 創価大学

総合型選抜導入時に創価大学が考えたのは、教育の「中身のよさ」を知ってもらうこと。育成プログラムと入試による学習体験が、入学後の教育と直結している。



アドミッションズセンター長  
**中山 雅司**

なかやままさし ●1986年創価大学大学院法学研究科博士前期課程修了。同年より創価大学の研究職に就きながら、ナイロビ大学客員講師、国際基督教大学非常勤講師、ハーバード大学客員研究員などを歴任。2003年創価大学法学部教授。2020年から現職。

## 教育体験型の入試設計で 入学者は成績優秀

本学では、2000年頃からLTD(話し合い学習法)を多くの授業に取り入れています。その教育効果は高く、本学習法に適した入学者を増やしたいという思いで、2018年度入試から、LTDの体験と面接によって学力の3要素を評価する総合型選抜「PASCAL入試」を実施しています。

2022年度には、同入試に直結する高校生育成プログラム「PASCAL入試チャレンジプログラム」を始めました。これは、自信を持って入試に臨めるようにすることを目的とした、志願者育成の取り組みです。1～3月に参加者を募集、3・6・8月にLTD体験、5月以降に自己推薦書作成のヒントとなる「キャリアプラン

## 在学生のプログラム参画 が志望者の意欲に好影響

PASCAL入試チャレンジプログラムには在学生が参画し、3月と6月のLTD体験でのファシリテートを担っています。これにより、参加者は在学生との交流を通して、入学後の生活への理解を深めるほか、学生への憧れを抱いて、志望意欲が高まるケースも見られます。

育成プログラムへの学生の起用は、大学側にも、教職員の負担軽減というメリットがあります。他方、8月のチャレンジプログラムに関しては、教員の実地研修を兼

ねています。PASCAL入試本番のファシリテートや採点に不安を持つ教員も、事前に感覚をつかめるので、スムーズな入試が行えます。

チャレンジプログラムの認知を広げるため、リーフレットやWeb媒体による広報に加えて、高校訪問を強化中です。アドミッションズセンターの職員や本学出身のシニア人材が数百校を飛び回り、高校教員に直接、プログラムの内容を説明しています。

近年の受験生の大学選びにおいては高校教員の及ぼす影響が大きくなっていますが、宗教学大学への先入観から本学の推奨をためらう教員も少なくありません。しかし、プログラムと入試の流れを知った教員からは、協働的な学びや高校生活の振り返りが高校の指導と連動している点が好評で、「知ってもらいさえすれば」という思いがあります。

2023年には、無料かつ広報的な要素を含まない形で、本学の教員や学生が高校の探究学習を支援するプログラム「そうか!」を始めました。これまで以上に高校の学びを支え、高大連携、地域貢献にも力を入れています。今後も本学の教育に関心を持つ高校教員を地道に増やしていきます。

## 注目

### さまざまな入試施策を講じた結果 志願者数が7年ぶりに増加

2024年度入試の志願者数が上向きに転じたのは、活発な入試改革の成果だと言える。総合型選抜には小論文方式を追加。年内入試では最も遅い12月に書類締め切りを設定した。文章力を生かしたい受験生層を開拓すると同時に、他の年内入試で結果が出なかった受験生にチャンスを与えている。2025年度入試からは、公募制推薦を総合型選抜「基礎学力方式」に変更する。高校長の推薦が不要なため、高校生の意思で受験しやすくなる。

#### 3種に拡充される総合型選抜

PASCAL入試	基礎学力方式	小論文方式
書類審査	書類審査 50点	書類審査 50点
+	+	+
グループディスカッション	筆記試験 100点	小論文 100点
or プレゼンテーション	+	+
	個別面接 50点	個別面接 50点

#### 志願者数推移



\*1 アクティブ・ラーニングの手法の一つ、Learning Through Discussion=話し合い学習法  
 \*2 Performance Assessment of Students' Competency for Active Learning入試。「アクティブ・ラーニングを行うための学生のコンピテンシーをペーパーテストではなく、パフォーマンスによって評価する」という、入試の目的と特徴を名称に表している

取材・文/児山雄介 撮影/亀井宏昭